

Samly II 取付説明書 <簡易版S2_2.08>

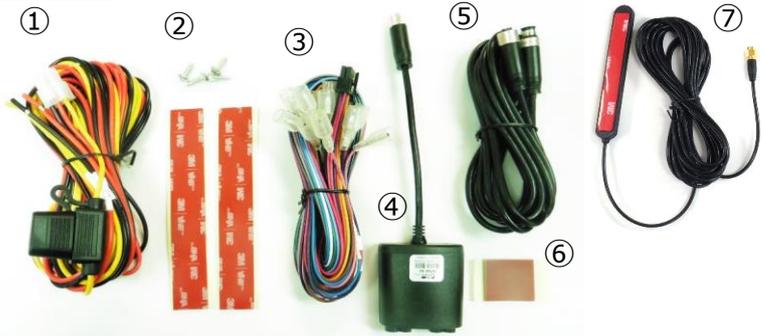
詳細は付属のCD-ROM内WITNESSIV取付取扱説明書・ビューソフト説明書（PDF）をお読みください。

構成部品

◆本体（インジケータユニット含む）



Samly II 本体



- ① 本体用電源ケーブル
- ② 本体用両面テープ（2枚）・本体固定用ネジ（4本）
- ③ 車速／各種信号ケーブル（I/O1）
- ④ インジケータユニット（GPS・マイク内蔵）
- ⑤ インジケータ用ケーブル
- ⑥ インジケータユニット用両面テープ
- ⑦ 通信用アンテナ（4G回線）

◆非防水カメラ-IRなし



カメラ付属品…カメラ用両面テープ×1枚

◆非防水カメラ-IRあり（赤外線機能付き）

※オプション品



◆防水カメラ-IRなし

※オプション品



◆防水カメラ-IRあり（赤外線機能付き）

※オプション品



カメラ付属品…カメラ用両面テープ×2枚 ※1枚は予備となります。

構成部品

◆カメラ用ケーブル

1.5m、3.5m、5m、10m（カメラケーブル脱着式）

※ケーブル同士の接続（ジョイント）可能。

※カメラ用ケーブルの延長は、各ケーブル組み合わせて、最大3本まで。（10m×3本＝最大30m）



◆専用SDカード 32GB・64GB・128GB・256GB

SDカード1スロット用

SDカード2スロット用



※専用SDカード以外は、**Samly II**でご利用になれません。

※シールの仕様変更になる場合がございます。

◆本体特殊ネジ専用ドライバー

※別途購入／オプション品

◆専用ビューワソフトCD

専用ビューワソフト（映像再生ソフト）となります。

専用SDカードのご使用にあたって

※メモリーカードは消耗品です。

ご使用環境によりませんが、1年毎（推奨）に定期的買い替えをしてご使用ください。

※専用SDカードをご使用の際は、同一本体でのご使用をおすすめします。

※必ず、SDHC・SDXC規格が読み取り可能なSDカードリーダーライターをご使用ください。

専用SDカードのフォーマットについて

専用SDカードをWindowsフォーマットしないでください。

「専用ビューワソフトのSD専用フォーマット」以外でのフォーマットは行わないでください。

Windowsフォーマットを行うと、記録したデータの一部が消去されますので、ご注意ください。

弊社商品Samly IIは特殊フォーマットとなります。万が一、Windowsフォーマット

してしまった場合は、再度、専用ビューワソフトで、SD専用フォーマットを行なってください。

※SD専用フォーマットを行なうと、専用SDカードの映像データは消去されます。

専用SDカードの映像データを消去する場合は、必ず専用ビューワソフトのSD専用フォーマットで消去してください。

※専用SDカードのSD専用フォーマットを行うと、専用SDカードの映像データは消去されますので、

必要な映像データはパソコンなどへ必ず保存（バックアップ）してください。

取り付け前の注意事項 安全のため、必ず以下の内容を確認してから取り付けください。

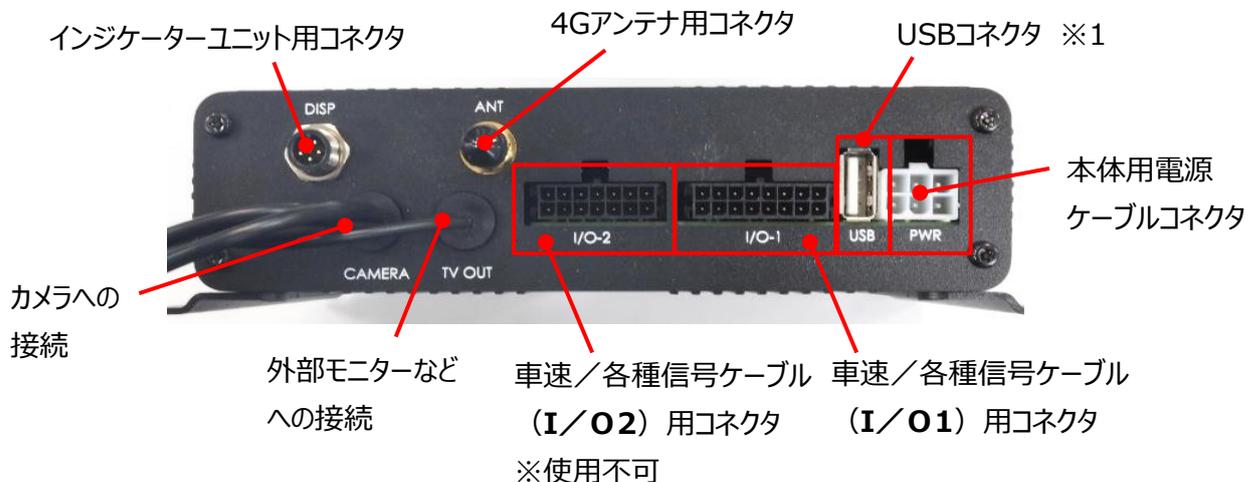
- ※水平な場所に止めてください。必ずエンジンを切り、エンジンキーを抜いた状態で取り付け（設置）をしてください。
- ※取り付けは、安全、かつ手元がよく見える、明るい場所で行ってください。
- ※電源電圧がDC12V、もしくはDC24Vのアース専用であることを確認してください。
それ以外の車には取り付けできません。
- ※水平な場所に車体を止めて行ってください。傾斜があるところで取り付けを行いますと、
本体設置位置の校正が正しく行われません。
- ※必ず付属の電源ケーブルを使用してください。
- ※使用しないケーブルは絶縁処理をしてください。

本体各部名称

表面



裏面



※1 本体のUSBコネクタ（差込口）は、本体と連動するオプション機器専用のものとなります。スマートフォンの充電等、オプション機器以外の機器を接続、使用されますと、本体の録画機能が正常に動作しなくなる恐れがあるため、オプション機器以外は接続しないでください。

カメラ・インジケターユニット各部名称



下記の手順で、機器を取り付けてください。

- ①取り付け（設置）場所を決める→②取り付け準備をする→
 ③配線・接続・取り付ける（配線図）→④専用SDカードを挿入する→
 ⑤本体設置位置の校正（手動校正）をする

① 取り付け（設置）場所を決める

本体、インジケータユニット、カメラ・4Gアンテナの設置場所を決め、スペースを空けてください。

NG 本機を次のような場所に取り付けしないでください。

- ◆エアコンやヒーターに近い場所。
- ◆配線の噛み込みみや被覆の摩擦などにより、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ◆車両の電装機器（アンテナ等含む）に近い場所。

OK 以下のような場所に設置してください。

- ◆フロントガラス上部から**全体の20%以内の範囲**、または**フロントガラス下部から150mm以内の範囲**。
- ◆運転の妨げ、ブレーキ・ハンドル等運転操作の妨げ、エアバック動作の妨げにならない場所。

本体

- ◆しっかりと取り付け、きちんと固定できる場所。 ◆専用SDカードの挿入・取り出しができる場所。
 - ◆スピーカー部分をふさがない場所。（本体上部）
- ※本体は、LEDランプ表示が確認できる場所への取り付けでなくても問題はありません。
 本体の動作（LED表示）は、インジケータユニットでご確認いただけます。

インジケータユニット

- ◆しっかりと取り付け、きちんと固定できる場所。
 - ◆LEDランプ表示を、運転者（ドライバー）が確認できる場所。
 - ◆音声が集音できる場所。 ◆GPS受信が良好な場所。
- ※インジケータユニットと他車載器のアンテナ類とは、50cm以上離して、お取り付けください。

カメラ

- ◆しっかりと取り付け、きちんと固定できる場所。 ◆運転中、視界の妨げにならない場所。
 - ◆カメラのレンズが、ワイパーの拭き取り範囲内にあり、カメラの視野が妨げられない場所。
- ※ドライブレコーダーの取り付けによって、テレビ・ラジオの受信・他車載器に影響がでる場合がありますので、今までと同様の受信を保証するものではありません。
 ※カメラと他車載器のアンテナ類とは、50cm以上離して、お取り付けください。
 ※カメラの配線ケーブルを、他車載器のアンテナ類とは、反対側から回してお取り付けください。
 ※両面テープでの取付で不安定な場合は、タッピングビスで固定してください。

通信用アンテナ（4G回線）

- ◆しっかりと取り付け、きちんと固定できる場所。
- ◆4G受信が良好な場所。
- ◆運転中、視界の妨げにならない場所。



ドライブレコーダー・車内外カメラの取り付け位置について

ドライブレコーダー（及び車内外カメラ）の貼り付け位置に関しては、道路運送車両の保安基準（第29条）の道路運送車両法細目告示（第39条・第117条・第195条）にて、以下のように定められています。

対象機器取付の際には、所定の位置をご確認のうえ、基準値内に収まる範囲へ取り付けを行ってください。

1. 乗用に供する乗車定員9人以下の自動車

前面ガラスの上縁であって、車両中心面と平行な面上の**ガラス開口部（※）の実長の20%以内**の範囲
又は、前面ガラスの下縁であって、車両中心面と平行な面上の**ガラス開口部から150mm以内**の範囲
その他、細目告示にて定める範囲

2. 貨物の運送用に供する車両総重量3.5 t 以下の自動車

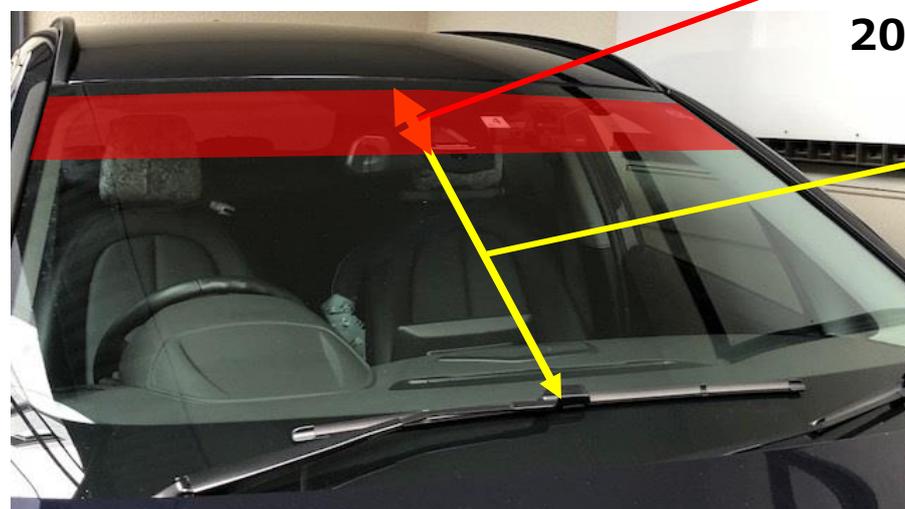
前面ガラスの上縁であって、車両中心面と平行な面上の**ガラス開口部（※）の実長の20%以内**の範囲
又は、前面ガラスの下縁であって、車両中心面と平行な面上の**ガラス開口部から150mm以内**の範囲
その他、細目告示にて定める範囲

3. 上記1.2以外の自動車

前面ガラスの上縁であって、車両中心面と平行な面上の**ガラス開口部（※）の実長の20%以内**の範囲
又は、前面ガラスの下縁であって、車両中心面と平行な面上の**ガラス開口部から150mm以内**の範囲
その他、細目告示にて定める範囲

※ガラス開口部 図解

乗用車以外トラック・バスについても同様。



実長の上部から
20%以内の範囲

車両中心面の
ガラス開口部の実長

② 取り付け準備をする

本体の裏面（2か所）、インジケータユニットの裏面、カメラステイの裏面に両面テープが浮かないように、しっかりと貼ってください。

※機器・ステイの裏面、取り付け場所（フロントガラスなど）の汚れや油分、埃、水滴などをきれいに拭き取ってください。特に、水滴は両面テープの性能を劣化させますのでご注意ください。

※両面テープは一度取り付けると、粘着力が弱くなりますので、再度貼り付けできません。貼り付けの際、ご注意ください。

※両面テープは、消耗品です。粘着力が弱まった場合、別途ご購入ください。



※両面テープの仕様が変更になる場合がございます。

③ 配線・接続・取り付ける

配線図に従い、本体用電源ケーブル、
車速／各種信号ケーブルを接続してください。

※未使用のケーブルの終端は、絶縁処理をしてください。

※必ず車のエンジンを切って、車のキーを抜いた状態で設置してください。

※必ず、付属の電源ケーブルを使用してください。



インジケーター

4Gアンテナ

本体用電源ケーブル

色	内訳	タグ
黄	常時電源	B+
黒	アース	GNDPWR
赤	アクセサリ	ACC

ACCの配線は車両の
イグニッションに
接続しないでください。



カメラへの接続
(最大4台接続可能)

外部モニター
などへの接続

車速/各種信号ケーブル I/O1

水色	左ウインカー	LEFT
グレー	ブレーキ信号	BRAKE
黄	タクシメーター	TAXI
濃ピンク	外部トリガーボタン	TRIGGER
黒	GND	GND
薄水色	運行情報	DRIVER
緑	右ウインカー	RIGHT
オレンジ	バック信号	BACK
白	パルス	PULSE
紫	AUX1	AUX1
紫	AUX2	AUX2
薄ピンク	ANALOG	ANALOG
薄ピンク	FUELanalogガソリン残量	FUEL
茶	OPTエンジン回転数	R.P.M
濃ピンク	TV-OUT切替ボタン	TV

タグ



カメラ用ケーブル

カメラ1台目は、タグ1に接続。
カメラ2台目は、タグ2に接続。
カメラ3台目は、タグ3に接続。
カメラ4台目は、タグ4に接続。

車速/各種信号ケーブル I/O2

※使用不可

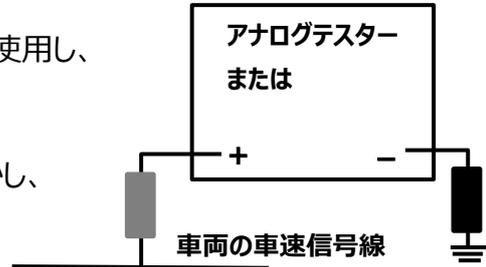
車速パルスが取得できていない場合

※無電圧車速パルス車・フローティングパルス車をご確認後、ご使用ください。

取り付けが完了し、走行後、専用ビューソフトで映像再生をした際、
車速パルスが取得できていない場合、下記の手順で車速パルスをご確認ください。

1 アナログテスター（またはデジタルテスター）を使用し、
車両の車速信号線とアース間の電圧を計測します。

2 イグニッションONの状態、車両をゆっくり動かし、
アナログテスターの針が動くか、またはデジタルテスターの数値を確認してください。



アナログ テスターの針が 動かない (無電圧)	デジタル テスターの針が 変化しない
---	---------------------------------

車両が
無電圧車速パルス車です。
本製品接続時、別のオプション品
プルアップハーネスが
必要となります。



24V車のみ、ご確認ください。	
アナログ テスターの針が 動く（有電圧 下限値5V以下）	デジタル テスターの針が 5V以下

車両が
フローティングパルス車です。
本製品接続時、別のオプション品
パルスレベルシフターが
必要となります。



※無電圧車速パルス車でない車両にプルアップハーネスを取り付けると、メーターが破損する
可能性がございますのでご注意ください。

※車速信号オプションパーツを使用することにより車速信号の取得を保証するものではありません。
Samly II 取扱説明書記載の作業方法で車速パルスが取得できない場合は、
車両メーカーにお問い合わせください。

※車両の型式／年式が同一でも、車速パルスの取得条件が同一でないことがあります。

※車両の仕様・装備、個体差などにより、車両パルスの取得方法が異なる場合があります。

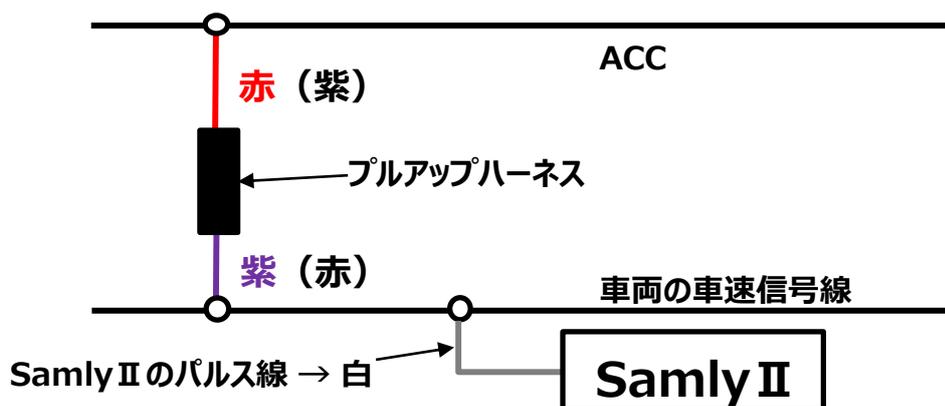
◆車種によっては、車速パルスが出力されていない車両がございます。その場合は、
各自動車メーカーにお問い合わせください。

プルアップハーネス接続方法

- ※一部の車両では、車速パルスに無電圧車速パルスが採用されているため、アナログテスターなどで電圧の計測ができないものがあります。
- ※無電圧車速パルス車に、プルアップハーネスを正しく接続することで、有電圧パルス車として、Samly II 製品に対応させることができます。
- ※無電圧車速パルス車の一部では、他の搭載された車載機の機能により有電圧パルスを取得できる場合があります。

接続方法

下図のように、プルアップハーネスをACCと車両の車速信号線の間配線してください。プルアップハーネスには、入力側・出力側の向きはありません。



プルアップハーネス接続方法(ノイズ低減対応)

停車状態（ウインカーの操作時など）で車速が出てしまう、走行中に車速が不安定になる（突然、急加速・急減速になる）などの際、下記の接続方法をお試しください。

接続方法

下図のように、プルアップハーネスをSamly IIと車両の車速信号線の間配線してください。プルアップハーネスには、入力側・出力側の向きはありません。



- ※Samly II のパルス線を接続する際は、はんだ付けでの結線をおすすめいたします。ギボシ端子等を使用して結線する場合は、パルス線がはずれないよう確実に圧着の作業を行ってください。作業完了後はパルス線がはずれないことを確認してください。

注意事項

- ※配線を行う際は、車両側の電源を切るなどの対策をとり、ショートしないようご注意ください。
- ※誤った配線は搭載機器を破損される可能性がありますので、車速信号配線をよく確かめて行ってください。
- ※配線に無理な加えると破損の恐れがありますので、取扱にご注意ください。

車を水平な場所に止めてください。

必ず、車のエンジンを切って、エンジンキーを抜いた状態で設置(取り付け)してください。

※水平な場所に止めてください。必ずエンジンを切り、エンジンキーを抜いた状態で取り付け（設置）を行ってください。

※取り付けは、安全、かつ手元がよく見える、明るい場所で行ってください。

※電源電圧がDC12V、もしくはDC24Vのアース専用であることを確認してください。

それ以外の車には取り付けできません。

※水平な場所に車体を止めて行ってください。傾斜があるところで取り付けを行いますと、

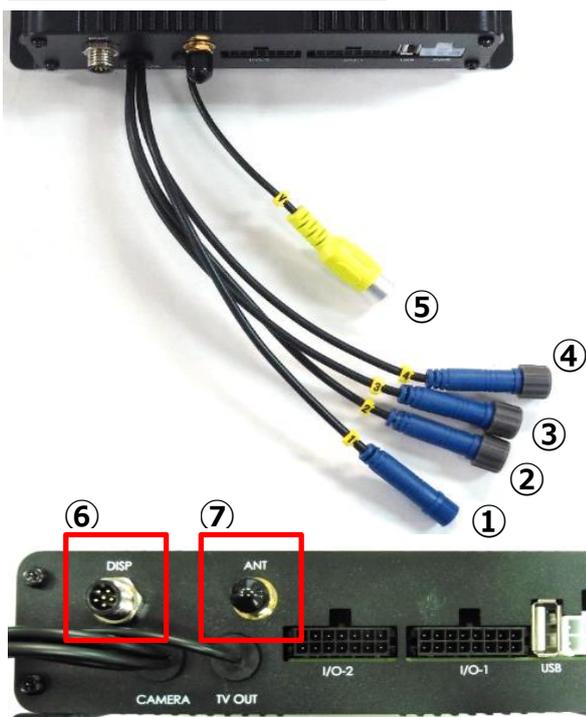
本体設置位置の校正が正しく行われません。

※必ず付属の電源ケーブルを使用してください。

※使用しないケーブルは絶縁処理をしてください。

※両面テープは、消耗品です。粘着力が弱まった場合、別途ご購入ください。

本体の取り付け



①②③④ カメラ用ケーブル⇔カメラへの接続

①タグ1…カメラ1台目を接続

②タグ2…カメラ2台目を接続

③タグ3…カメラ3台目を接続

④タグ4…カメラ4台目を接続

※未使用時、キャップは外さないでください。

⑤ 外部モニターなどへの接続（タグV）

※ビデオケーブル（RCA）はご用意ください。

※未使用時、キャップは外さないでください。

⑥ インジケータ用ケーブル・インジケータユニットへの接続（以下、インジケータと表記）

⑦ 4Gアンテナ（通信用）への接続

車速/各種信号ケーブルの接続について

車速/各種信号ケーブルは、コネクタ（I/O）に、奥までしっかりと差し込んで接続してください。

接続後、きちんと接続できている（固定されている）か確認してください。

※きちんとケーブルが接続されていないと、ケーブルが抜けてしまい、Samly IIの機能が、

正常に動作されません。

○ ケーブルとコネクタの間に
隙間がありません。

✗ ケーブルとコネクタの間に
隙間があります。



本体①②③④ ⇔ カメラ用ケーブル ⇔ カメラへの接続方法

1. 本体①②③④と、カメラ用ケーブルのコネクタの矢印を合わせて、水平に差し込む。
 ※カメラ用ケーブルは、すべてのカメラ共通。



OK コネクタ間に隙間がない状態



NG コネクタ間に隙間がある状態

隙間がある状態で、コネクタカバーを回しても、隙間は埋まらず、正常に接続できませんのでご注意ください。

※接続時、パッキン（黒のオーリング）が外れないよう
 ご注意ください。



※未使用時、キャップは外さないでください。

本体① タグ1…カメラ1台目を接続



本体② タグ2…カメラ2台目を接続

本体③ タグ3…カメラ3台目を接続

本体④ タグ4…カメラ4台目を接続

2. 接続部分に、コネクタカバーを合わせる。



3. コネクタ間に隙間がないことを確認し、
 コネクタカバーを時計回り（右回り）に
 回し、しっかりと締める。



4. カメラ用ケーブルと、カメラから出ているコネクタの矢印を合わせて水平に差し込む。



5. 接続部分に、コネクタカバーを合わせる。



6. コネクタ間に隙間がないことを確認し、
 コネクタカバーを時計回り（右回り）に
 回し、しっかりと締める。



※しっかりと接続されていない、また、コネクタ部分に圧等（右写真）がかかる取付は、車の振動などで接触不良が起こり、カメラエラーや取得映像にチラつきなどが出る場合がありますのでご注意ください。カメラエラーやチラつきが出た場合は、再度コネクタ部分を外し、再接続を行ってください。



本体⑤ ⇔ 外部モニターなどへの接続方法

1. 本体⑤と、ビデオケーブル（RCA）の
コネクタを水平に差し込む。
※ビデオケーブル（RCA）は
ご用意ください。
2. ビデオケーブル（RCA）の反対側と
外部モニターなどのケーブルコネクタを
水平に差し込む。

**本体⑥ ⇔ インジケータ用ケーブル ⇔ インジケータへの接続方法**

1. 本体⑥と、インジケータ用ケーブルコネクタの
ピンの向き（位置）を確認後、
凹凸部分を合わせて、水平に差し込む。



<接続状態>

2. インジケータ用ケーブル側のコネクタ部分
（銀色部分）を時計回りに回し、しっかりと
接続してください。



3. インジケータ用ケーブルと、インジケータの
コネクタの矢印を合わせて水平に
差し込む。



4. それぞれのコネクタを約8～10回ほど
時計回り（右回り）で回し、
しっかりと締める。
（隙間がなくなります。）



本体⑦ ⇔ 4Gアンテナ(通信用) への接続方法

1. 本体⑦コネクタの蓋を外す。
2. 本体⑦と、4Gアンテナのコネクタを合わせて、水平に差し込む。
3. 4Gアンテナ側のコネクタを約8~10回ほど時計回り（右回り）で回し、しっかりと締める。



※しっかりと固定するため、工具（スパナなど）を使用、また結線終了後、絶縁テープをご使用ください。

※ケーブルコネクタのピンが折れるなど破損を起こさないようご注意ください。

カメラの取り付け・角度調整

- ※しっかりと取り付け、きちんと固定されているか確認してください。
- カメラが落下することのないように、テープなどで補強してください。
- ※貼り付け後、車両外側から見て、両面テープの部分に気泡がないことを確認してください。
- ※貼り付け後、確実に密着するようにカメラのステー（台座部分）を十分に押し付けてください。
- ※撮影したい方向にカメラが向いているか確認してください。
- ※カメラレンズの向きが車両進行方向と水平になるように調整してください。

非防水カメラの場合

取り付け時、カメラ2の向きを確認してください。
カメラから出ているケーブルを下向きにした状態が正しい位置となります。



取り付け時、カメラの角度調整をする場合、Aのネジを反時計回り（左回り）で緩めて、調整してください。
角度調整後、Aのネジを時計回り（右回り）でしっかりと締めてください。
※Aのネジは、強く締めすぎないでください。
締める際は、破損しないようご注意ください。

防水カメラの場合



映像を再生した際、映像の上側となる目印があります。

取り付け時、カメラの向きを確認してください。

【IRなしの場合】

レンズ側の白い点が、
映像の上側となります。



正しい位置

【IRあり（赤外線機能付き）の場合】

レンズ側の白い点が、
映像の上側となります。

※上記状態にすると、
赤外線補正センサー
部分（A）が下側
になります。



正しい位置



映像の上側となる目印の位置を変更したい場合は、
カメラステーのBのネジを緩めて、カメラを動かしてください。

※市販品の六角レンチ（対辺寸法 3 mm）をご用意ください。

カメラの取り付け位置によって、撮影方向にカメラレンズがきちんと
向かない場合は、Bのネジを緩めた後外して、カメラレンズの向きを変える
ことができます。向きの変更後、Bのネジはしっかりと締めてください。



レンズの
向き



ステー短い

ステー長い

レンズの
向き



ステー長い

ステー短い

※出荷時、カメラレンズの向きは
上の写真の仕様となります。

Cのネジで、ステーの角度調整が可能です。

Cのネジで緩めて、調整してください。調整後、Cのネジはしっかりと締めてください。

映像再生時、時計回りに90度回転させて映像を見たい場合のカメラの向き・角度調整

レンズ側の目印（白い点）が映像を再生した際、映像の上側となります。
Bのネジを緩めて、目印（白い点）の位置を、レンズ側から見て、
右に90度回転させ変更してください。
目印（白い点）とカメラホルダーのライン（D部分）が水平であることを
確認後、Bのネジをしっかりと締めてください、

**防水カメラ-IRなし****防水カメラ-IRあり(赤外線機能付き)****外部モニター出力でのカメラの向き・画角確認方法**

外部モニター接続時、SETボタンでのカメラ出力・切り替えが可能です。
(ACC ON時 & 録画中のみ作動) ※この機能は、TV-OUT設定がOFF設定時は機能しません。

【操作手順】

- 1.SD設定のTV-OUT設定・保存をしてください。
- 2.録画中（REC LEDランプ緑色点灯）、
SETボタンを1回押してください。
- 3.外部モニターに、TV-OUT設定した映像が出力されます。

※SETボタンを1回押すごとに、外部モニターの画面が切り替わります。例えば、TV-OUT設定をカメラ2に設定した場合、SETボタンを1回押すごとに、カメラ3→カメラ4→カメラ1→カメラ2…と切り替わります。

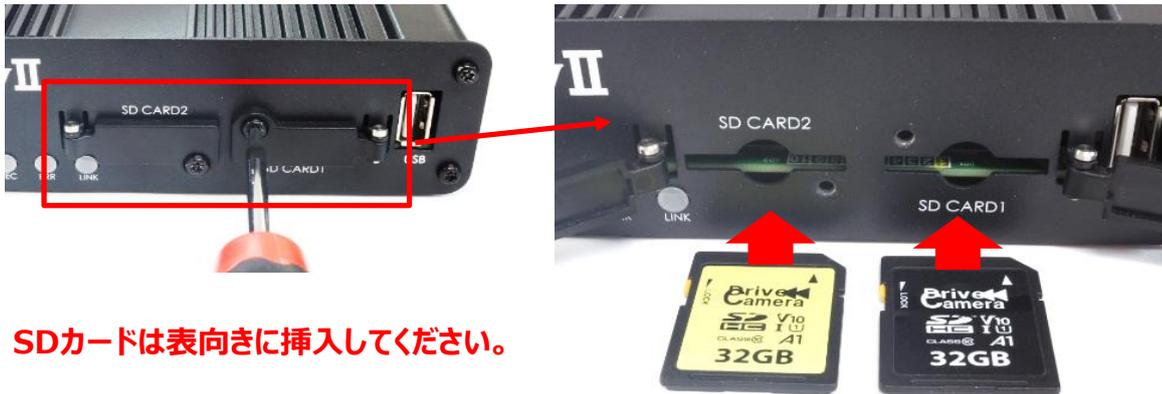
※次のACC OFFまでは、最後の出力が維持されます。ACC OFF→ACC ON後は、SDカードに保存されているTV-OUT設定の出力に戻ります。



**取り付け・配線完了後、機器がきちんと固定されているか、
運転機能が正しく動作するか確認してください。**

④ 専用SDカードを挿入する

セキュリティ対策として、専用SDカードは、簡単に取り出せない仕様（特殊ネジ）となっております。蓋の開閉は、本体特殊ネジ専用ドライバーをお使いください。



SDカードは表向きに挿入してください。

- ◆SD CARD1 : 「専用SDカード1」(黒ラベル) 挿入口
- ◆SD CARD2 : 「専用SDカード2」(黄緑ラベル) 挿入口

挿入方法

- ① ACC（自動車電源）がOFFであることを確認してください。
- ② 専用ドライバーを本体特殊ネジ部分にあて、ネジを反時計回り（左回り）で緩め、蓋を手前に開けてください。
- ③ 専用SDカード1（黒ラベル）をSD CARD1に、専用SDカード2（黄緑ラベル）をSD CARD2に、水平に挿入してください。
※SDカードの表裏を間違えないようにしてください。
※SD設定されている専用SDカードを挿入してください。
(本体設置位置設定方法については、ビューソフト説明書を参照。)
- ④ 蓋が合わさるように閉め、専用ドライバーを本体特殊ネジ部分にあて、ネジを時計回り（右回り）で、しっかりと締めてください。

取り出し方法

- ① ACC（自動車電源）をOFFにします。
※すべてのLEDランプの消灯をご確認ください。
- ② 専用ドライバーを本体特殊ネジ部分にあて、ネジを反時計回り（左回り）で緩め、蓋を手前に開けてください。
- ③ 専用SDカードを軽く押し込み、指を添えて水平に取り出してください。
- ④ 蓋が合わさるように閉め、専用ドライバーを本体特殊ネジ部分にあて、ネジを時計回り（右回り）で、しっかりと締めてください。

Samly II は、専用SDカードの専用フォーマットを行っていないとご使用いただけません。

SDカード挿入時、SDカードが専用フォーマットされていることをご確認ください。

（出荷時に同梱されるSDカードは専用フォーマット済みです。SDカード名称:SY2-SD）

※専用フォーマットがされていないSDカードを本体に挿入すると、起動時、ERR（エラー）ランプが赤色点滅し、正常起動ができませんのでご注意ください。

※SDカードの専用フォーマット方法については、ビューソフト説明書参照。

録画をする前に、SDカードの設定を行ってください。

※SDカードの設定方法については、ビューソフト説明書参照。

専用SDカードのご使用にあたって

※メモリーカードは消耗品です。

ご使用環境によりますが、1年毎（推奨）に定期的買い替えをしてご使用ください。

※専用SDカードをご使用の際は、同一本体でのご使用をおすすめします。

※必ず、SDHC・SDXC規格が読み取り可能なSDカードリーダーライターをご使用ください。

専用SDカードのフォーマットについて

専用SDカードをWindowsフォーマットしないでください。

「専用ビューソフトのSD専用フォーマット」以外でのフォーマットは行わないでください。

Windowsフォーマットを行うと、記録したデータの一部が消去されますので、ご注意ください。

弊社商品Samly II は特殊フォーマットとなります。万が一、Windowsフォーマット

してしまった場合は、再度、専用ビューソフトで、SD専用フォーマットを行なってください。

※SD専用フォーマットを行なうと、専用SDカードの映像データは消去されます。

専用SDカードの映像データを消去する場合は、必ず専用ビューソフトの専用フォーマットで消去してください。

※専用SDカードの専用フォーマットを行うと、専用SDカードの映像データは消去されますので、

必要な映像データはパソコンなどへ必ず保存（バックアップ）してください。

使用上のご注意

※SDカードを本体に抜き差しする場合、方向に注意して、まっすぐ抜き差ししてください。

上下に曲げないように注意してください。無理にSDカードを取り出すと、SDカードが破損する恐れがありますのでご注意ください。

※SDカードの抜き差しは、本体の電源が切れていること（すべてのLEDランプ消灯）を確認して行ってください。動作中にSDカードの抜き差しを行うと、SDカードが破損する恐れがあります。

※SDカードへのデータ書き込み中（LEDランプが点灯中）は、絶対にSDカードを抜かないでください。

SDカードが破損するだけでなく、本体が故障する恐れがあります。

※強い衝撃などによりSDカードが物理的破損したり、使用環境により正常録画できない可能性（録画されたデータは正常に再生できないかもしれない）がありますので、定期的にデータの確認とデータの保存をお願いします。

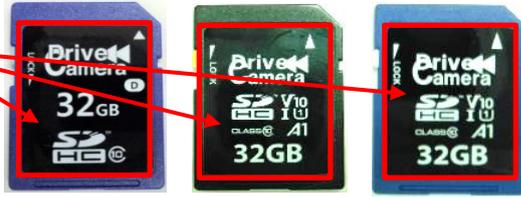
下記エラーのビープ音・音声ガイダンスは、起動時のエラー取得時に、必須（設定不可）で流れます。
 起動中、エラーが起きた（起こした）場合は、その際、1回ビープ音・音声ガイダンスが流れます。
 起動時に確認できないエラー「GPSエラー時」「本体異常時」は、起動後のエラー取得時に、
 1回のみビープ音・音声ガイダンスが流れます。

項目	ビープ音	音声ガイダンス
GPSエラー時	ピーピーピー	GPSがエラーです。
・SDカード未挿入時 ・「LOCK」がかかっている 状態のSDカード挿入時	ピーピーピー	<SDカード1> SDカード1が入っていません。 <SDカード2> SDカード2が入っていません。
・専用SDカードでない 市販品SD挿入時 ・専用フォーマットがされて いない専用SDカード挿入時	ピーピーピー	<SDカード1> SDカード1が使えません。 <SDカード2> SDカード2が使えません。
破損したSDカード挿入時	ピーピーピー	<SDカード1> SDカード1がエラーです。 <SDカード2> SDカード2がエラーです。
挿入するSDカードスロットが 間違っている場合 SDカード2をSDカード1スロット挿入 SDカード1をSDカード2スロット挿入	ピーピーピー	<SDカード1> SDカード1が間違っています。 <SDカード2> SDカード2が間違っています。
カメラ1エラー時	ピーピーピー	カメラ1がエラーです。
カメラ2エラー時	ピーピーピー	カメラ2がエラーです。
カメラ3エラー時	ピーピーピー	カメラ3がエラーです。
カメラ4エラー時	ピーピーピー	カメラ4がエラーです。
本体異常時 (Gセンサーエラー含む)	ピーピーピー	本体がエラーです。



SDカードのラベル（シール）の色をご確認後、スロットに挿入してください。

黒ラベル



スロット
SD CARD 1 に挿入

黄緑ラベル



スロット
SD CARD 2 に挿入

SDカードが間違っている場合のビープ音・音声ガイダンス／LED一覧

<p>OK SDカード1を スロットSD CARD1</p> <p>NG SDカード1を スロットSD CARD2に挿入</p>	<p>ビープ音・ 音声ガイダンス</p>	<p>ピーピーピー SDカード2が間違っています。</p> <p>本体</p>  <p>インジケータ ※GPSは受信まで 青色点滅</p> 
<p>NG SDカード2を スロットSD CARD1</p> <p>OK SDカード2を スロットSD CARD2に挿入</p>	<p>ビープ音・ 音声ガイダンス</p>	<p>ピーピーピー SDカード1が間違っています。</p> <p>本体</p>  <p>インジケータ ※GPSは受信まで 青色点滅</p> 
<p>NG SDカード1を スロットSD CARD2</p> <p>NG SDカード2を スロットSD CARD1に挿入</p>	<p>ビープ音・ 音声ガイダンス</p>	<p>ピーピーピー SDカード1が間違っています。 SDカード2が間違っています。</p> <p>本体</p>  <p>インジケータ ※GPSは受信まで 青色点滅</p> 

※LEDは、接続しているカメラ台数に関わらず同じ表示となります。

⑤ 本体設置位置の校正（手動校正）をする

Samly II 取付完了後、車両が水平な場所で、必ず本体設置位置の校正（手動校正）を行ってください。

※本体設置位置の校正（手動校正）は、ACC ON時のみ機能します。

本体設置位置の校正（手動校正）とは、本体の角度が縦向きなどに設置されている場合、その状態を垂直として認識校正する機能です。

この校正を行わないと、トリガーが頻繁にかかってしまいます。

※水平な場所に車体を止めて行ってください。傾斜があるところで取り付けを行いますと、本体設置位置の校正が正しく行われません。

※本体設置位置に対して、40°以内までは取り付け・本体設置位置の校正（手動校正）が可能です。

※本体設置位置の設定が保存されている専用SDカードを挿入してください。

（本体設置位置設定方法については、ビューワソフト説明書参照。）

本体設置位置の校正（手動校正）方法

本体設置位置の校正（手動校正）は、ACC ON時のみ機能します。

車両を水平な場所に止めてください。

①専用ビューワソフトで、専用SDカードに本体設置位置の設定・保存をする。

②車両を水平な場所に止めてください。

必ず車のエンジンを切って、車のキーを抜いた状態で行ってください。

③SDカードを本体に挿入してください。

④Samly II 本体が、①で設定・保存した設置位置と同じ位置か確認してください。

※異なる場合は、専用SDカードの本体設置位置の設定・保存をし直してください。

⑤ACC ONにしてください。

※エンジンONではありません。エンジンはかけないようにお願いいたします。

（エンジンONの場合は、車の振動が影響するため）

⑥ ■ [録画開始のビーブ音・音声ガイダンス設定ONの場合]

「ピンポン 録画を開始します。」と流れます。

音声ガイダンス確認後、SETボタンをビーブ音が流れるまで押してください。

■ [録画開始のビーブ音・音声ガイダンス設定OFFの場合]

本体RECランプの緑色点灯確認後、SETボタンをビーブ音が流れるまで押してください。

⑦ビーブ音が鳴りましたら、SETボタンを押すのを止めてください。

⑧これで校正完了となります。ACC OFFにしてください。



本体設置位置の校正（手動校正）は1回のみで十分ですが、本体の設置位置を変更する場合は、必ず再度、本体設置位置の校正（手動校正）を行ってください。

起動（録画開始）

本体の電源が切れている状態（すべてのLEDランプが消灯）で、専用SDカードが挿入されていることを確認後、電源を入れてください。（ACC ON）。

ACC ONから約15秒後に、RECランプが緑色点灯に変わり、自動的に常時録画が始まります。

LED表示

	正常時	異常時
CAM1ランプ°	緑色点灯	1カメラ設定でタグ1に未接続、カメラ1異常の場合→赤色点灯 ※1
CAM2ランプ°	緑色点灯	2カメラ設定でタグ2に未接続、カメラ2異常の場合→赤色点灯
CAM 3/4ランプ°	緑色点灯	3カメラ設定でタグ3に未接続、カメラ3異常の場合→赤色点滅
		4カメラ設定でタグ4に未接続、カメラ4異常の場合→赤色高速点滅
		3カメラ、4カメラ設定で同時に未接続、カメラ3,4異常の場合→赤色点灯
RECランプ°	正常起動・録画開始→緑色点灯	—
ERRランプ°	消灯	赤色点滅 ※インジケータユニット未接続、カメラ未接続の場合。 ※専用SDカードでない、専用フォーマットされていない、SDカード破損の場合。
LINKランプ°	SD設定4G OFF→消灯（無灯）	—
	SD設定4G ON&Samly IIが通信していない→2秒緑色点滅・2秒消灯の繰り返し	
	Samly IIは通信しているが、WEBサービスに繋がっていない→緑色点滅	
	Samly IIは通信していて、WEBサービスにも繋がっている→緑色点灯	

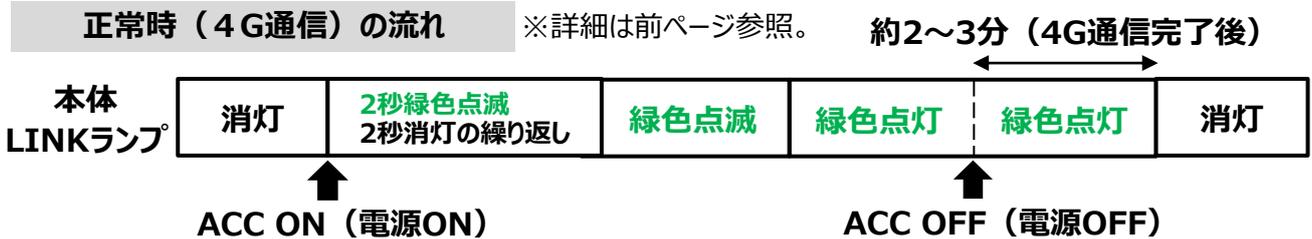
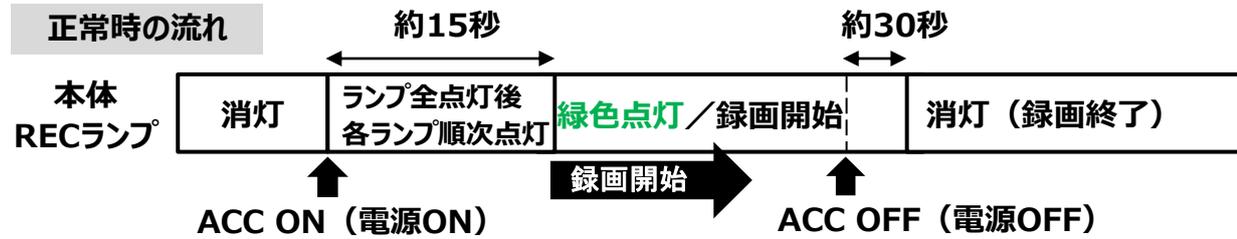
※1 1カメラ設定&1カメラ接続での正常時、仕様上、CAM1ランプは緑色点灯・CAM2ランプは赤色点灯となります。

※ACC ON後、GPS受信まで、約30秒以上かかりますが、GPS受信がしにくい場所（ビルの谷間など）では、30分以上かかる場合があります。障害物や遮へい物のない視界が良好な場所に移動してください。

終了（録画停止）

電源遮断（ACC OFF）から約30秒後にシャットダウンされます。（※1）本体が完全にシャットダウンされる（すべてのLEDランプが消灯）まで、専用SDカードを絶対に抜かないでください。

（※1）4G通信時、電源遮断（ACC OFF）後すぐにシャットダウンされません。4G通信完了後、シャットダウンされます。4G通信NGの場合、ACC OFF後約2～3分で強制的にシャットダウンします。



※ACC OFF後、4G通信NGの場合、ACC OFF後約2～3分で強制的にシャットダウンします。

使用上のご注意

- ※SDカードの抜き差しは、本体の電源が切れていること(すべてのLEDランプの消灯)を確認して行ってください。動作中にSDカードの抜き差しを行うと、SDカードが破損する恐れがあります。
- ※SDカードへのデータ書き込み中（RECランプが点灯・点滅中）は、絶対にSDカードを抜かないでください。SDカードが破損するだけでなく、本体が故障する恐れがあります。

インジケータユニット

インジケータユニットで、Samly IIの動作状況を確認することができます。
マイク搭載で、周囲の音声を録音します。

LED表示

	ACC ON正常時	ACC ON異常時
PWRランプ	本体電源ON(ACC-ON)後→ 緑色点灯	本体が起動していない場合→ 消灯 ※本体のLED表示をご確認ください。
GPSランプ	GPS受信前→青色点滅 GPS受信後→青色点灯 GPS圏外になった場合→青色点滅	-
RECランプ	正常起動・録画開始→緑色点灯	-
ERRランプ	消灯	本体で異常などが発生している場合→ 赤色点滅 ※本体のLED表示をご確認ください。

専用ビューソフトの起動方法

- 1.インストールした「Samly II Viewer」のアイコンをダブルクリックしてください。
 - 2.「Samly II Viewer」が起動します。
- ※専用ビューソフトを、デスクトップなどにコピーする際は、フォルダごとコピーしてください。
フォルダごとコピーしていただかないと起動せず、正常にご使用いただけません。

基本機能説明



A	画面 1 映像再生画面
B	画面 2 映像再生画面
C	映像再生画面カメラ切り替えボタン
D	日時・車番表示
E	メニュー（SD設定・保存先設定・SD専用フォーマット・ソフトのバージョン情報）
F	最小化ボタン・閉じるボタン
G	速度・パルス表示、タクシー実空車信号表示、ブレーキ・ウインカー信号表示画面
H	操作ボタン
I	機能ボタン
J	再生速度・音量調整バー
K	解析グラフ（Gセンサーグラフ・速度グラフ表示画面）
L	明るさ・コントラスト調整バー
M	データ一覧、地図（Google Map）、設定値情報
N	映像日時指定、全データ保存ボタン 信号・トリガー別映像データ抽出
O	データ保存・データ変換ボタン

録画した映像データは、専用ビューソフトで、再生して見るすることができます。

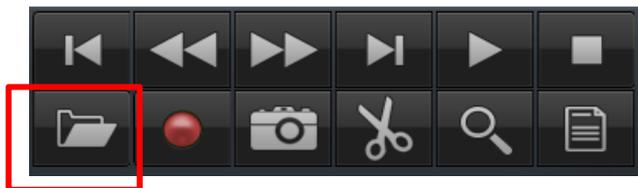
(カメラ4台の映像を同時再生可)

※映像再生時、カメラそれぞれの映像にズレが生じる場合があります。(映像にズレが生じることがありますが、映像データには問題ありません。)

SDカードを同一本体で使用しない場合、映像データをパソコンに保存後、専用フォーマットを行ってからご使用ください。

映像再生手順

- 録画した専用SDカードをカードリーダーに入れ、パソコンに接続してください。(専用SDカード以外の場合は、手順2からご覧ください。)
- 専用ビューソフトを立ち上げ、[映像を開く]ボタンをクリックしてください。



- 再生したい映像データの保存先フォルダを選択してください。

専用SDカード内の映像を再生する場合

リムーバブルディスクの選択は不要です。

読込先に、接続したSDカードが自動的に読み込まれます。SY2-SDと表示されているかご確認ください。

保存先から映像を再生する場合

保存先からファイル選択(映像データを選択)後、[開く]ボタンをクリックしてください。



- 専用SDカード内の映像データを、最初から映像日時指定して抽出することが可能です。接続したSDカードの自動読み込み後、映像日時指定に☑を入れてください。日時を指定後、[映像を開く]ボタンをクリックしてください。
 ※指定した日時の前30分、後30分の合計1時間の映像(※1)が抽出されます。
 ※1 映像ファイル名の開始時間が、合計1時間以内に含まれる映像。

- データ一覧が自動的に表示されます。

再生したい映像データをダブルクリックすると、再生が始まります。



[前のファイル][次のファイル]ボタンのクリックで前のファイル、次のファイルを再生することができます。

ID	録画開始時間	カメラ	映像名
1	2018-04-19 11:07:34		
2	2018-04-19 11:09:33		
3	2018-04-19 11:14:12	裏バ	C Y B
4	2018-04-19 11:19:50	裏バ	C Y A B
5	2018-04-19 13:37:47	裏	
6	2018-04-19 13:41:30		
7	2018-04-19 13:48:59	裏	
8	2018-04-19 14:25:42	バ	
9	2018-04-19 16:26:24	裏バ	

再生中の映像データは、水色のバーで表示されます。